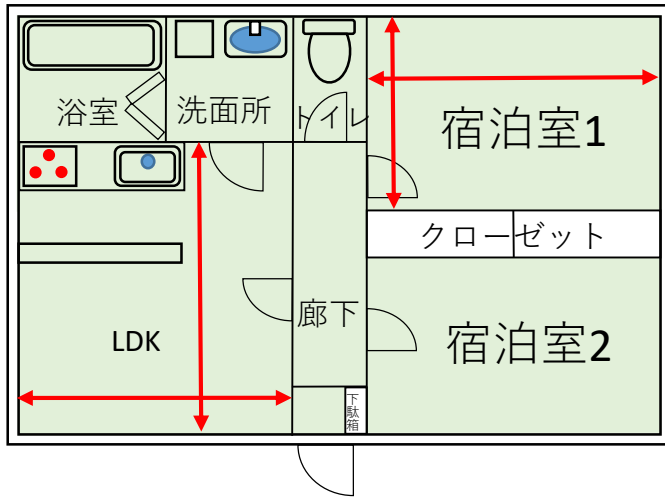


# 届出住宅の面積の考え方 (家主不在型)

緑色に塗られている箇所が各面積において算出してほしい箇所 (矢印は測定箇所の一例)

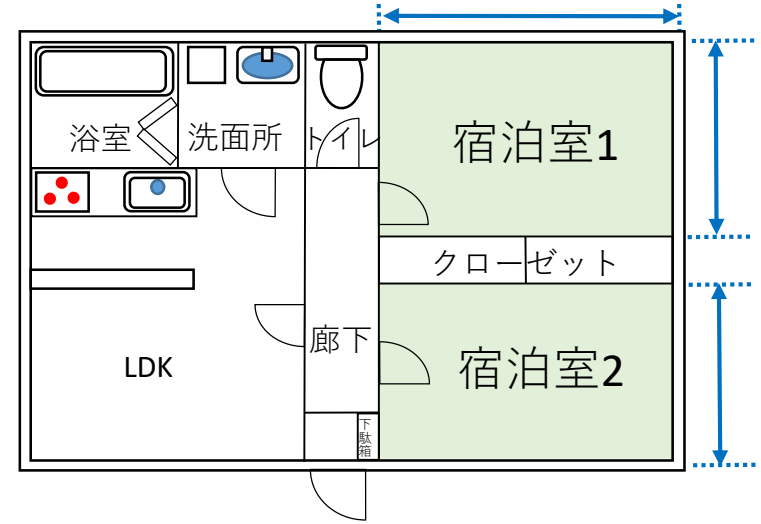
## ① 居室の面積 (内寸)

宿泊者の占有の台所、浴室、トイレ、洗面所、廊下を含み、押し入れ等は含まない

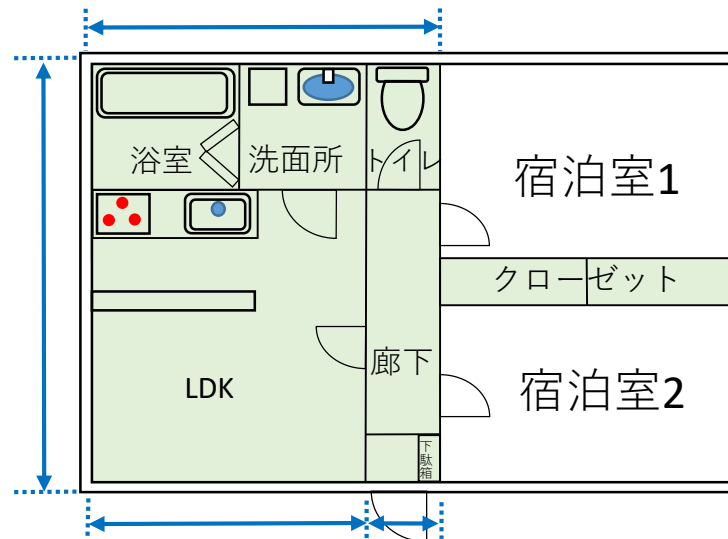


## ② 宿泊室の面積 (壁芯)

就寝に用いる部屋 (宿泊室)



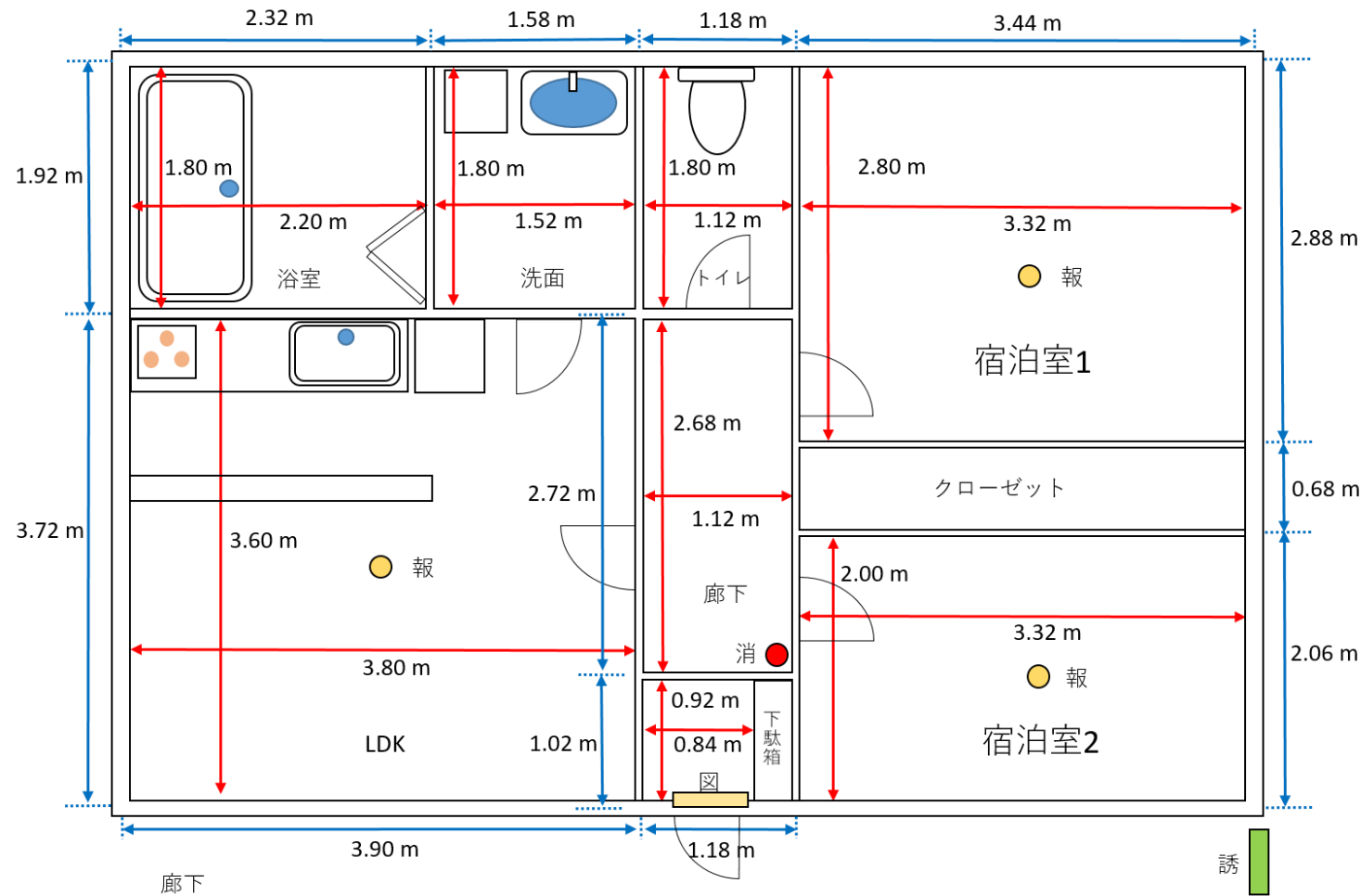
## ③ 宿泊者の使用に供する部分 (宿泊室を除く) の面積 (壁芯)



宿泊者の占有の有無にかかわらず、  
台所、浴室、トイレ、洗面所、廊下、押し入れ、床の間は含み、宿泊室を除く

# 届出住宅の図面の書き方例

矢印で示してある内寸、壁芯ともに長さを測定し、図面内に長さを記載する。赤矢印：内寸 青矢印：壁芯  
居室、宿泊室、宿泊者の使用に供する部分の面積の算定根拠を記載する。  
自動火災報知設備や避難経路図、消火器、誘導灯など安全確保の措置状況を図面に記載する。



● 報：自動火災報知設備 ● 消：消火器 ■ 誘：誘導灯 ■ 図：避難経路図

宿泊者の使用に供する部分の面積 31.01 m<sup>2</sup>

1.92 × 2.32 = 4.4544 m<sup>2</sup>

1.92 × 1.58 = 3.0336 m<sup>2</sup>

1.92 × 1.18 = 2.2656 m<sup>2</sup>

3.72 × 3.90 = 14.508 m<sup>2</sup>

2.72 × 1.18 = 3.2096 m<sup>2</sup>

1.02 × 1.18 = 1.2036 m<sup>2</sup>

0.68 × 3.44 = 2.3392 m<sup>2</sup>

計 31.014 m<sup>2</sup>